

序

本論文集は、本年3月末日をもって本学経済学部を定年により退任された高嶋雅明先生に、深い感謝と惜別の情を込めて編まれたものである。高嶋先生は1970年に本学経済学部赴任され、本学の内外に大きな足跡を残された。

先生は、学部の授業では「日本経済史」のほか、「商業史」、「現代経済史」、「日本金融史」などを担当され、大学院では「日本経済史特殊問題」などを担当されてきた。また、先生のお人柄を慕い、多くの学生が先生の元に集まり、巣立っていった。

先生のご専門は明治期を中心とした近代日本経済史である。巻末の著作目録に示されているように、先生のご研究は膨大かつ多岐にわたっている。すなわち、明治期の日本の地方金融史、朝鮮植民地金融史、近代和歌山地域の産業史・金融史、明治期の日本貿易史といった分野である。これらのご研究は多くの研究者から高く評価されている。

先生は、学内行政においては、経済学科長、評議員、経済学部長などを歴任され、本学部のみならず大学全体の運営に中心的な役割を果たされた。

先生は学会や地域社会にも大きく貢献された。先生は、社会経済史学会、経営史学会など多くの学会でご活躍されるとともに、和歌山県・市を初めとする各地の歴史編纂事業で指導的な役割を果たされ、各種審議会等委員を歴任された。

高嶋先生の本学に対するご貢献に対して敬意と感謝の意を表するとともに、今後一層のご健勝とご活躍を心よりお祈りする次第である。

2006年5月

和歌山大学経済学会会長

乗 杉 澄 夫